

# 水圧を利用した摘らい方法は、モモジョイントV字トレリス栽培の省力的着果管理に有効である

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

## 1 部門名

果樹－モモ－栽培

## 2 担当者名

安達義輝、三田村諭、遠藤敦史、南春菜、渡邊善仁、増子俊明

## 3 要旨

モモジョイントV字（以下、JV）トレリス栽培の平面的な短果枝群に対して、効率的かつ機械的に管理できる水圧を利用した摘らい法（以下、水圧摘らい）を検討した。見直し摘らいまたは摘花を組み合わせることで、JVの手作業に比べ、仕上摘果までの着果管理作業時間が30%程度削減、開心自然形の手作業に比べ60%程度削減可能であった。

(1) 水圧摘らいは、摘らい用ノズル+高圧動力噴霧機セットを利用し、処理水圧5MPaで発芽1週間前に実施した。

(2) 果面障害の発生を防ぐため、発芽後5～15日（開花前6～17日）頃の実施は避ける。



図1 モモJVトレリス栽培における水圧摘らい作業

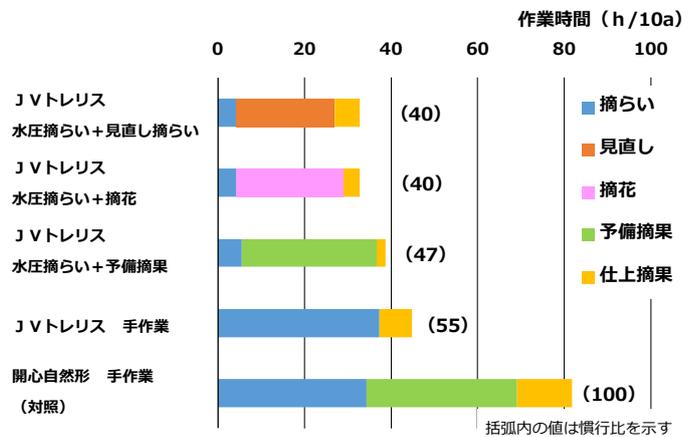


図2 水圧摘らいによる着果管理作業時間の比較

## 4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成28年度～令和2年度

(2) 研究課題名 果樹のジョイント栽培等新技术の導入による革新的栽培技術体系の確立

〔農林水産省：革新的技術開発・緊急展開事業（うち先導プロジェクト・人工知能未来農業創造プロジェクト）〕

## 5 主な参考文献・資料

(1) 志村ら、「水圧を利用したモモの摘らい方法」（平成19年度普及に移しうる成果）

(2) 志村ら、「水圧を利用したモモの摘らい効果」東北農業研究第60号，p151-152，2007.